

第9回 日本医師会

赤ひげ賞

第9回赤ひげ大賞 (5人、順列は北から)

- 升田 鉄三 北海道 礼文町国民健康保険船泊診療所 診療所長
- 藤井 敏司 岩手 藤井小児科内科クリニック 院長
- 鈴木 直文 茨城 慈泉堂病院 理事長
- 伊藤 博 城川 伊藤病院 名誉院長
- 梶尾 直美 尾島 神野上クリニック 院長

地域で献身的な医療に取り組む医師を顕彰する第9回「日本医師会 赤ひげ大賞」(主催・日本医師会、産経新聞社、特別協賛・太陽生命保険)の大賞5人と功労賞13人の受賞者が決まった。大賞を受賞した5人の医師の日々の活動と功労賞受賞者を紹介する。



患者と向き合う升田鉄三医師
—北海道礼文町(飯田英男撮影)

ますだ・てつぞう 礼文町国民健康保険船泊診療所 診療所長。医学博士。昭和29年、北海道礼文町生まれ。67歳。同町の奨学金を受けて54年に秋田大学医学部を卒業。同町のある礼文島の医療に貢献しようと、同学部第一外科に入局し、関連病院で難病医療に必要な外科を中心に研修を積む。学位取得後の61年、帰島して現職に就任。35年にわたり礼文島の医療を支えている。

離島で完結する医療と福祉目指す

北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。

升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。



日本医師会 中川俊男会長 昨年来、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっており、この新感染症の蔓延によって、私たちの生活様式や働き方、学校教育のありなど、各方面で大きな変化や我慢を余儀なくされる中で、医療が果たしている役割は、医師の一人である中川俊男会長が、誰もが驚かされるようなことではないでしょうか。また、各地域において医療提供体制をどうしていくか、いかに重要であるかを感じています。今年度の功労賞受賞者について、

献身的な活動に厚い信頼

「日本医師会 赤ひげ大賞」を受賞した5人の医師の日々の活動と功労賞受賞者を紹介する。升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。



診察する藤井敏司医師
—岩手県大船町(松本健吾撮影)

藤井敏司氏 (岩手県大船町) 三陸沿岸の岩手県大船町で、一人の小児科医は昭和58年の開業時から、パンダ生一への愛が込められてきた。一着脱ぎで寝た入られた。3当時、体重が75・16。身長168。当時、完全なメダカ。体形がマッチングして定着してしまっただけです。作家の井上ひさしの小説「吉原吉原」上と同じ名前の吉原里子地帯があり、テレビ番組「21世紀のひさし」のモデルのモデルもある大船町は、平成23年の東日本大震災の津波で、火災で市街地が壊滅した。犠牲者は120人以上と数え、首長が犠牲になった唯一の自治体でもある。



太陽生命保険 副島直樹社長 「日本医師会 赤ひげ大賞」を受賞した5人の医師の日々の活動と功労賞受賞者を紹介する。升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。

被災地に根差し住民の健康を担う

被災地には根差し住民の健康を担う。升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。

藤井敏司氏 (岩手県大船町) 三陸沿岸の岩手県大船町で、一人の小児科医は昭和58年の開業時から、パンダ生一への愛が込められてきた。一着脱ぎで寝た入られた。3当時、体重が75・16。身長168。当時、完全なメダカ。体形がマッチングして定着してしまっただけです。作家の井上ひさしの小説「吉原吉原」上と同じ名前の吉原里子地帯があり、テレビ番組「21世紀のひさし」のモデルのモデルもある大船町は、平成23年の東日本大震災の津波で、火災で市街地が壊滅した。犠牲者は120人以上と数え、首長が犠牲になった唯一の自治体でもある。

最前線で安心提供 深い感謝

最前線で安心提供 深い感謝。升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。

【推薦方法】本賞受賞にふさわしいと思われる方1人を各都道府県医師会会長が推薦
【推薦基準】病を診るだけではなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師。日本医師会および都道府県医師会の会員で現役の医師(ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く)
【主催】日本医師会、産経新聞社
【後援】厚生労働省、フジテレビ、BSフジ
【協力】都道府県医師会
【特別協賛】太陽生命保険株式会社

27日 BSフジで特別番組を放送
「密着! かかりつけ医たちの奮闘〜第9回赤ひげ大賞受賞者〜」
放送日: 27日(土)14:00~14:55

日本医師会 29日にYouTubeで祝賀動画公開
日本医師会では、日本医師会公式YouTube(YouTube)チャンネルで、受賞者への祝意を伝える映像を公開する。
公開期間: 29日(月)10:00~8月末

いつでも誰かの支えに

「日本医師会 赤ひげ大賞」を受賞した5人の医師の日々の活動と功労賞受賞者を紹介する。升田鉄三氏 (北海道礼文町) 北の最北、北海道稚内市からフレリーで約2時間。礼文島の礼文町国民健康保険船泊診療所は、入居費ゼロの離島診療所。平らな敷地は、設備が整った。この離島診療所を運営する升田鉄三医師は、全世帯に電話が通じ、全世帯に電気が通じ、全世帯に水道が通じている。升田医師は、早期の検査と診断で再治療が必要と判断した患者は島の外に、一別を出発する。患者は島の外に出発する。患者は島の外に出発する。

新型コロナウイルスの入院で

最高40万円

感染症プラス

入院一時金保険

感染症プラス

入院一時金

保障が2倍

太陽生命 0120-95-1528 (通話無料)

